



平成28年 1月25日

各位

会社名
代表者名 代表取締役社長 CEO 安藤 正弘
(コード番号：3457)
問合せ先 常務取締役 CFO 浅田 浩
(TEL. 075-229-3200)

平成28年6月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成27年8月14日に公表した平成28年6月期第2四半期累計期間の業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成28年6月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成27年8月14日)	7,958	401	340	217	51円93銭
今回修正予想 (B)	8,676	706	673	446	106円48銭
増減額 (B-A)	718	305	332	228	—
増減率 (%)	9.0	76.1	97.7	105.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年6月期第2四半期)	6,916	310	282	205	59円65銭

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前第2四半期実績の1株当たり四半期純利益を算出しております。

2. 業績予想数値の修正理由

売上高においては、フランチャイズ事業の加盟契約数増加による加盟金・ロイヤルティ収入の増加、不動産事業のハウス・リースバック物件取得数増加による賃料収入の増加・売却に伴うキャピタルゲイン収入による増加及び不動産売買事業による販売が引続き好調に推移したことにより、全体として計画を上回る見込みです。また、利益率向上を経営課題に掲げ、費用においては効率的な運用等により全体として計画よりも抑えることができました。以上の理由により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回発表予想を大きく上回る見込みです。

なお、通期の連結業績予想については、かなり高い確度での達成を見込んでおりますが、当社グループが属する不動産業界における最需要期である1月から3月の業績を鑑み、通期業績を見極めた上で、必要に応じ通期業績予想の変更を適時に開示してまいります。

以上